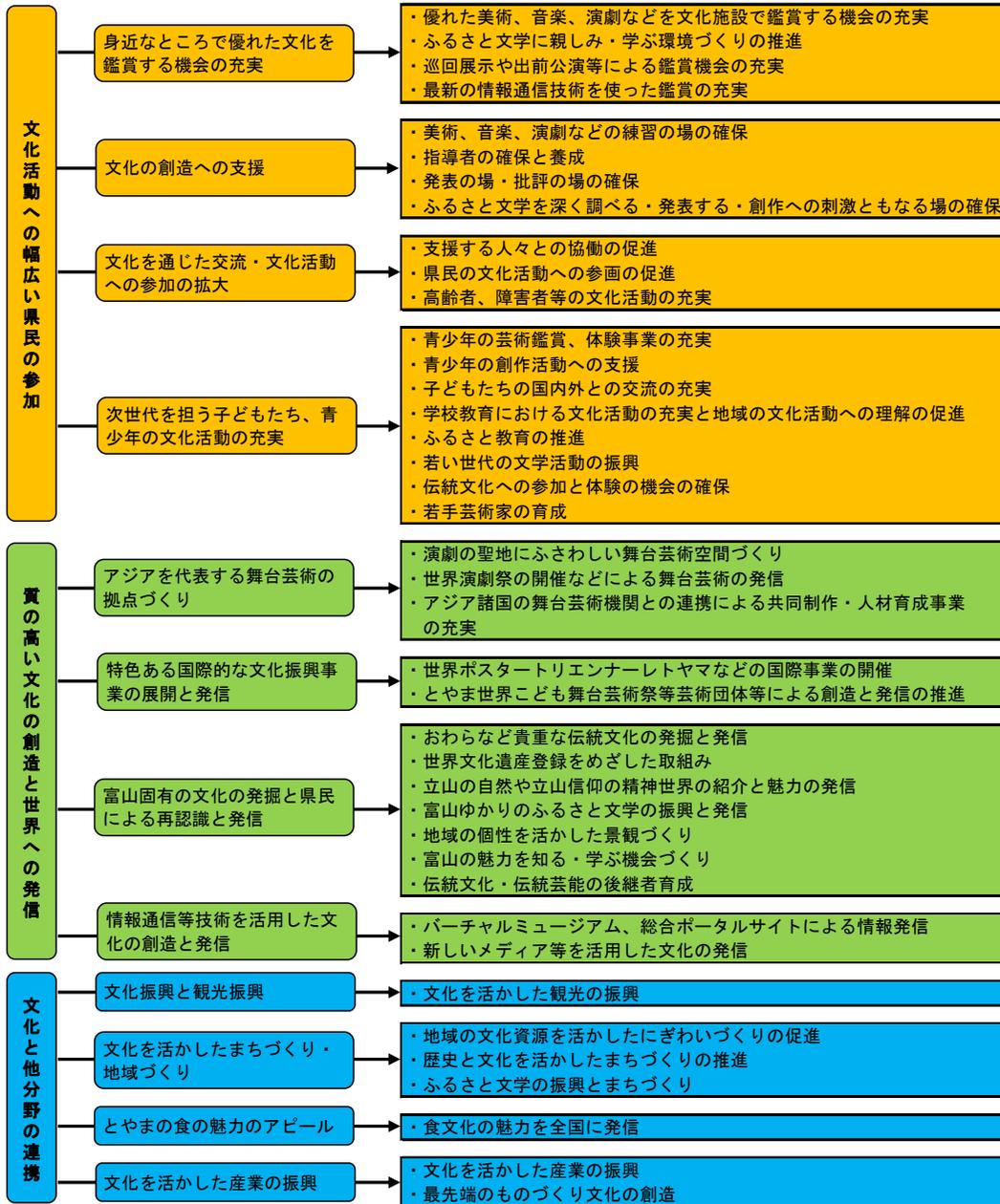


現行計画（H24年5月改定）の体系

計画の期間：H24～H33 年度

<基本目標> <施策の方向性>

<主な重点施策>



計画改定後の状況変化等

<富山県の文化をめぐる環境変化等>

- 北陸新幹線の開業…県外観光客の増加を踏まえた取組み
- 地方創生…文化芸術を起爆剤とする地方創生の実現
- 2020年東京大会…文化芸術を通じた世界への貢献
- グローバル化の進展…文化芸術を介した国際交流の推進

<計画改定後の施策・事業展開等>

- 高志の国文学館の開館（H24.7）
 - ・ H28. 3. 27 入館者数47万人突破
- アジアを代表する舞台芸術の拠点づくりの推進
 - ・ アジア演劇家フェスティバル（H24～）
 - ・ 利賀アジア芸術祭（H26～）
- 県立文化施設の計画的修繕による魅力アップ（H25～）
- 伝統的工芸品等の魅力の全国や世界へのPR（H26～）
 - ・ ニューヨークやミラノでのPR
 - ・ 国際的な工芸関連イベントの誘致 など
- 県民会館のリニューアルオープン（H27.3）
- 大伴家持生誕1300年記念事業の推進（H27～H30）
 - ・ 家持の功績を広く普及啓発、顕彰するための記念事業を展開し、全国・世界に向けて家持の魅力を発信
- 富山県美術館の整備（H29夏後半～秋頃開館）
 - ・ アートとデザインをつなぐ、日本で初めての美術館
 - ・ 見る、創る、学ぶといった双方向で美術を体験

<富山県経済・文化長期ビジョンの策定>

H28年夏の策定を目指し、懇話会で20年、30年先を見据えたビジョンを検討中

- 県民意識・ニーズの把握（アンケート等の実施）
- 富山県文化審議会での審議

状況変化等を踏まえた文化振興計画の改定
前回の改定同様、今後10年を期間とする計画に